

本資料のうち、枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（脆性破壊防止）

No.	指摘日	図書種別、 図書番号	図書名称	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への 反映箇所	回答状況	備考
1	2021/1/14	VI-1-2-2	原子炉圧力容器の脆性破壊防止に関する説明書	P11	上部棚吸収エネルギーの評価箇所について、その選定の考え方を整理して説明すること。	<p>① JEAC4201 SA-2120に基づき、関連温度（初期値）及び化学成分（Cu、Ni等）の影響を考慮し供試材を選定しております。 【関連温度（初期値）】 胴板3と胴板4は同じ値である。 【化学成分】 照射脆化評価に用いるCu及びNiについて、 Cu：<input type="text"/> Ni：<input type="text"/></p> <p>上記により、関連温度（初期値）は同じ値であることから、化学成分の観点より供試材として、胴板4を選定しております。 上部棚吸収エネルギーについても、供試材として選定された胴板4を用いて評価しております。</p> <p>② また、炉心領域における中性子束は胴板3において最大となりますが、胴板4に対しても炉心領域における最大の中性子束を適用し評価を実施しております。</p>	補足-310-1 原子炉圧力容器の脆性破壊防止に関する補足説明資料 P4, 5, 6, 16	①2021/8/31 回答済み ②今回回答	
2	2021/1/14	VI-1-2-2	原子炉圧力容器の脆性破壊防止に関する説明書	P6, 19	最低使用温度に基づく評価について、評価箇所であるスタッドボルトの最低使用温度の設定の考え方を整理して提示すること。	最低使用温度は建屋内の温度「建屋空調最低温度の <input type="text"/> ℃」に基づきで設定しております。	回答整理表にて回答	2021/8/31 回答済	

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

女川2号工認 記載適正化箇所（脆性破壊防止）

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
1	VI-1-2-2	原子炉圧力容器の脆性破壊防止に関する説明書	P14	図7-1に炉心領域を明記しました。	2021/8/31	
2	補足-310-1	原子炉圧力容器の脆性破壊防止に関する補足説明資料	P5, 6	有効炉心領域と原子炉圧力容器の位置関係について記載の追記及び図面を追加しました。	2021/8/31	
3	補足-310-1	原子炉圧力容器の脆性破壊防止に関する補足説明資料	P16	中性子照射量について記号「f」を追記しました。	2021/8/31	
4	補足-310-1	原子炉圧力容器の脆性破壊防止に関する補足説明資料	P19	$R T_{NDT}$ の計算式について記載を適正化しました。	2021/8/31	